

教育目標

『21世紀を力強くともに生きぬく児童の育成～かしこく たたく たくましく～』

苫小牧市教育大綱 基本理念
「未来の社会をつくるひとづくり」

啓北中エリアで目指す15歳の生徒像
○広く深く考え、自らを高め、常に向上する生徒
○豊かな心を持ち、温かく補い合う生徒
○たくましい体と強い心をもつ生徒

<めざす学校像>

- ◎魅力ある学校
- ◎信頼される学校
- ◎働きがいのある学校

<めざす児童像>

- ◎【かしこく】よく考え、根気強く学ぶ子
- ◎【たたく】思いやりの心を持ち、命やものを大切にする子
- ◎【たくましく】強い意志と健康な心身を持ち、最後までやりとげる子

<めざす教職員像>

- ◎児童の実態を的確に把握し、適切な指導ができる教職員
- ◎広い視野に立ち、組織の一員として「協働」「連携」できる教職員
- ◎教育に情熱を持ち、前向きに「切磋琢磨」できる教職員
- ◎心身ともに健康で、信頼と期待に応える教職員

徹底

<重点目標>

豊かな心とたくましい体を持ち、生き生きと意欲的に学ぶ子の育成

<今年度の重点取組事項>

焦点化・見える化

継続

一人一人のニーズに応じた確かな学力の育成《かしこく》

豊かな人間性の育成《たたく》

健康な心身の育成《たくましく》

- ①基礎基本の確実な定着を目指す授業改善
 - ・「課題」と「まとめ」を明確にした授業（全教科）
 - ・「焦点化・イメージ化・視覚化」に基づく授業改善の推進
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（共通取組場面；見通す・決定する・協働する・振り返る）
 - ・校内研修と関連したICTの日常的な活用と活用内容の更なる向上
 - ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の工夫
 - ・学習規律の徹底、板書と一体化したノート指導など、「北光小実践マニュアル」に基づく指導の徹底
- ②専科制及び一部教科担任制による指導の充実
 - ・担任外教員を活用した専科制による指導（外国語活動、外国語、理科〈4～6年生〉音楽〈4～6年生〉）
 - ・一部教科担任制（交換授業）の積極的な運用
- ③特別支援教育の充実
 - ・子どもの状態像及びねらいを踏まえた計画的・組織的で持続可能な交流及び共同学習の推進
 - ・全ての教員の特別支援教育に関する専門性の向上
- ④家庭と連携した学習習慣の確立
 - ・学年×10分＋10分の宿題及び家庭学習の定着
 - ・タブレットを活用した家庭学習の推進
- ⑤読書活動の奨励
 - ・登校後や給食時間等の読書の充実
 - ・児童会（図書委員会）や学校司書と連携した学校図書館の効果的な活用

- ①道徳教育の充実
 - ・「考え、議論する」道徳の授業改善
 - ・情報モラル教育の推進（各種資料や外部講師の活用）
- ②生徒指導の充実
 - ・集団生活のルール、マナーの徹底（挨拶・言葉遣い・時間厳守・廊下歩行）
 - ・「自己指導能力」の育成
 - ・いじめや不登校等における児童支援体制の充実を図るため、SWやSC、福利及び医療関係者などの専門家を活用したチームアプローチの体制を徹底
- ③人権教育の推進
 - ・男女混合名簿の活用
 - ・自他を尊重する態度を育成する取組の推進

家庭・地域との連携・協働《信頼される学校づくり》

- ①家庭・地域と連携した望ましい教育環境づくり
 - ・「がんばり週間」の取組と家庭への啓発（望ましい生活リズムの定着、家庭での学習習慣の定着）
 - ・「親子読書」の継続的な実施・地域素材、地域人材等教育資源の積極的活用
- ②信頼される学校づくりの推進
 - ・家庭や地域への学校経営方針等の説明・サービス規律の確保・積極的な情報発信と公開における目的や対象者に即した情報発信媒体選択の工夫（HPの充実や「さくら連絡網」の活用等）
 - ・「Tomakomai All-in-9（オールナイン）」による幼小中連携の推進・学校運営協議会（CS）との連携
- ③働き方改革の推進
 - ・職務内容の精選とスリム化、勤務時間等に対する意識転換
 - ・ICT（校務支援システム等）を活用した校務の効率化の徹底、外部人材の活用
 - ・コアチーム（校務運営委員会代替）による働き方改革の推進

- ①体力の向上
 - ・体育科の授業改善の推進
 - ・体育科の授業における体力向上の取組
- ②基本的生活習慣、運動習慣の改善
 - ・基本的な生活習慣の指導の徹底
 - ・環境整備とその活用
- ③学校衛生管理マニュアルの徹底による感染症対策の徹底
 - ・感染症対策の共通理解の徹底（教職員、児童、保護者）
 - ・感染状況を踏まえた学校衛生管理マニュアルに基づく教育活動の工夫改善
 - ・児童及び教職員の健康状態の把握の徹底